

立山砂防女性サロンの会が土砂災害防 止功労者表彰を受賞されます

国土交通省と各都道府県では、毎年6月を「土砂災害防止月間」として、土砂災害の防止と被害の軽減を図るための各種活動を実施しています。

国土交通省では、「土砂災害防止月間」の行事の一環として、土砂災害防止に関して顕著な功績があった個人・団体に対して国土交通大臣表彰をおこなうこととしています。今年度、富山県から1団体が受賞されます。

6月4日(木)山形県山形市において開催されます土砂災害防止「全国の集い」において表彰式が行われますので、お知らせします。

■土砂災害防止功労者表彰受賞者及び功績概要

★立山砂防女性サロンの会【富山市】

立山砂防女性サロンの会は、土砂災害の恐ろしさ、砂防事業の必要性を女性の立場から子や孫、地域の方々に語り伝えていくことを目的として平成13年に設立された立山砂防事業の女性サポーターの会です。

設立以降、13年にわたり、毎年砂防に関する講演会や勉強会等を開催したり、国内はもとより海外各地の現地視察・見学会を通して、積極的に土砂災害に関する情報の収集も行い、その成果を講演会やマスコミを通じて情報配信も進めるなど、土砂災害防止思想の普及に大きく貢献している。

立山砂防女性サロンの会

- ・会員数 300名
- ・会長:尾畑納子(富山国際大学学務部長)
アドバイザー:吉友嘉久子(株式会社よしともコミュニケーションズ 代表取締役)
- ・平成13年11月11日 発足

■表彰式

1. 日時 平成27年6月4日(木)13:00～
2. 場所 山形市山形テルサ(テルサホール)

土砂災害防止月間行事や土砂災害防止功労者に関する詳細は以下の国土交通省ホームページ報道発表資料を参照してください。

■土砂災害防止月間(6月1日から6月30日)の概要

http://www.mlit.go.jp/report/press/sabo01_hh_000019.html


お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局	立山砂防事務所
副所長(技術)	福田 光生
調査課長	石井 崇
電話	076-482-1111 (代表)
FAX	076-482-1101

立山砂防事務所

〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦嶮寺字ブナ坂61番地

<http://www.hrr.mlit.go.jp/tateyama/index.html>

QRコードはこちら 



国土交通省北陸地方整備局

平成27年度 土砂災害防止功労者表彰 一覧

資料3

【個人】

推薦団体	氏名	審査基準	概要
愛知県 豊田市	松武 義聰(79歳) 豊田市矢作川研究所常任顧問	(4)土砂災害防止 事業推進	毎年講演会や研修等で、自らが調査した全国各地の災害の状況や復旧対策等の情報を伝え、防災担当者等の防災意識の向上や知識の習得に役立てられ、土砂災害防止事業の推進に寄与した。

【団体】

推薦団体	団体名等	審査基準	概要
青森県	青森県砂防ボランティア協会	(2)災害対応 (6)砂防施設等の 点検・監視	・平成23年の東日本大震災直後から土砂災害危険箇所緊急点検に協力し、県への情報提供や助言を行うなど砂防行政に貢献。 ・平成9年から長年にわたり砂防施設の維持管理・点検活動に従事。
山形県	白鷹町自主防災組織連絡協議会	(1)人命救助 (2)災害対応	H26.7月の豪雨の中、住民の避難誘導、避難所の開設等を行った。特に土砂崩れが発生した地区では5世帯16名を災害発生前に避難させ、人的被害を未然に防いだ。
山形県	小滝地区自主防災会	(1)人命救助 (2)災害対応	・H25.7月の豪雨の中、住民1名を避難させた後に地すべりが発生した。この災害での人的被害を未然に防いだ。 ・社会福祉協議会が地元小学校にボランティアセンターを立ち上げると、これに積極的に関わり、情報提供や被災者、子供たちとの交流等を仲立ち。
新潟県	焼山愛好会	(5)砂防施設等の 維持管理	平成15年の発足以来、火打山川第一号火山防災えん堤とその周辺に整備された登山道や砂防公園の草刈りなどの整備を毎年実施。整備した砂防公園の見学会を開催するなど、防災施設への理解を深める活動も実施。
石川県	石川県砂防ボランティア協会	(2)災害対応 (6)砂防施設等の 点検・監視	・石川県能登半島沖地震等の激甚災害時における土砂災害危険箇所調査や平成20年7月の金沢市浅野川流域土砂災害において現地確認の初動役を務めるなど二次災害防止に尽力した。 ・毎年土砂災害防止月間に実施されている土砂災害防止施設や危険箇所の点検パトロールに参加。
長野県	南木曾町消防団	(1)人命救助 (2)災害対応	・平成26年7月9日に長野県南木曾町で発生した土砂災害の際に、土砂に巻き込まれ木の下敷きとなった子どもを救助。 ・被災地における安否確認、避難誘導等を行った。
長野県	王滝村消防団	(2)災害対応	平成26年9月27日に発生した御嶽山噴火直後、下山してきた登山客の誘導や、けが人を病院へ搬送するなどの活動。また、堆積した火山灰による土石流から地域住民を守るため、台風接近前から広報や巡回を実施し、防災体制を整え避難を完了させた。
長野県	木曾町消防団	(2)災害対応	平成26年9月27日に発生した御嶽山噴火直後、下山してきた登山客の誘導や、けが人を円滑に搬送するため交通整理等に協力。また噴火後には堆積した火山灰による土石流から地域住民を守るため、台風接近前から広報や巡回を実施し、防災体制を整え事前に避難を完了させた。
長崎県	特定非営利活動法人 芝桜公園をつくる会	(5)砂防施設等の 維持管理	・平成21年発足以来、雲仙普賢岳噴火災害を機に指定された中尾川砂防指定地の堆砂敷において、毎年芝桜の植栽や除草を継続実施。
地方 整備局	最上川・赤川水系砂防ボランティア協会	(3)啓発活動 (6)砂防施設等の 点検・監視	・孫ちい塾の運営、母と子の砂防自然塾の運営、SABO楽校の運営等の土砂災害防止意識の啓発活動を長年にわたり実施。 ・砂防設備や土砂災害危険箇所の点検パトロール等の実施
地方 整備局	立山砂防女性サロンの会	(3)啓発活動	・地元立山をはじめ、国内外の砂防施設等の視察等を積極的に行い、その成果を毎年開催している砂防講演会等を通じて、地域住民の土砂災害防止意識の普及に貢献。
地方 整備局	静岡西ロータリークラブ	(3)啓発活動	日本三大崩れの一つ「大谷崩」において、毎年植樹イベントを実施し、本年度で28回目の開催。活動を通して植樹を体験しながら砂防事業の効果や土砂災害防止の必要性等を見て、聞いて体験させる形で土砂災害防止意識の普及に貢献。
地方 整備局	広島市消防団	(1)人命救助 (2)災害対応	・平成26年8月20日に広島市で発生した土砂災害において、住民の救助や避難誘導を実施。 ・避難所においては、救援物資の配布、清掃、簡易ベッドの組み立てなどが実施され、被災者支援活動においても貢献。
地方 整備局	一般社団法人 広島県建設工業協会	(2)災害対応	・平成26年8月20日に広島市で発生した土砂災害時に、中国地方整備局に対し被災地において復旧対応に要するバックホウやダンプトラック等の建設機械類の確保や対応可能業者等の最新情報の提供を行った。 ・復旧対応に必要な進入路整備についても現地調査要請を受け、的確かつ安全な進入路整備の助言を行った。

表彰式は、平成27年6月4日(木)に山形県山形市で開催する土砂災害防止「全国の集い」で実施



広島県広島市安佐南区八木地区(平成26年8月)



長野県南木曾町梨子沢(平成26年7月)

平成27年度(第33回)

土砂災害防止 全国の集い

命を守る土砂災害対策

～さくらんぼ県で考えるこれからのSABO(砂防)～

in山形



山形県白鷹町十王関寺地区(平成26年7月)



山形県白鷹町十王関寺地区 円光寺(平成26年7月)

パネルディスカッション

「土砂災害から命を守るために考えよう!」

コーディネーター／山崎 登(NHK解説主幹)

特別講演

「防災に役立つ天気予報活用法」

三ヶ尻 知子(気象予報士)

事例報告

「活かしてほしい私たちの土砂災害体験・取り組み」

報告者 山形県大蔵村 肘折地区自治会 代表者
山形県南陽市 小滝地区自主防災会 代表者
しらたか木の駅実行委員会 代表者

特別展示 UAV(無人航空機)、災害対策車両などの展示及びデモンストレーション(JR山形駅西広場)

一般参加入場無料

当日受付も可能ですが、収容員数に限りがあり聴講できない可能性があるため、事前申し込みをおすすめします。申し込み方法はホームページをご覧ください。

山形県砂防・災害対策課ホームページ
<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kendoseibi/180010/tsudo.html>

6月4日(木) 13:00~17:00

会場 山形テルサ(テルサホール)

主催 国土交通省、山形県

お問合せ先

「全国の集い」運営委員会事務局(山形県砂防・災害対策課内)
(電話)023-630-2225

後援 内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、(一社)日本新聞協会、(一社)日本民間放送連盟、(一社)全国治水砂防協会、(一社)東北地域づくり協会、(一財)砂防・地すべり技術センター、(一財)砂防フロンティア整備推進機構、(NPO)土砂災害防止広報センター、全国地すべりがけ崩れ対策協議会、(一社)斜面防災対策技術協会、(一社)建設広報協会、砂防ボランティア全国連絡協議会、山形県治水協会、山形県砂防協会、(公財)山形県建設技術センター、(一社)山形県建設業協会、(一社)山形県測量設計業協会、山形県地質土壌調査業協会、山形県市長会、山形県町村会、山形県砂防ボランティア協会、最上川・赤川水系砂防ボランティア協会、(一財)山形県消防協会、山形新聞・山形放送、山形テレビ、テレビユー山形、さくらんぼテレビ、ケーブルテレビ山形、エフエム山形

6月4日(木) 土砂災害防止「全国の集い」 CPD・CPDS認定講習対象

11:00~12:00 **連携行事** 平成27年度砂防ボランティア「全国のつどい」 **山形テルサ(アブローズ)**

12:00	■開 場 (ドアオープン) / 山形テルサ (テルサホール)
	■ポスターセッション (60分)
13:00	■開会式典 (50分) ○挨拶: 国土交通大臣、山形県知事、山形市長 ○土砂災害防止功労者表彰
13:50	■パネルディスカッション (70分) 『土砂災害から命を守るために考えよう!』 コーディネーター 山崎 登 (NHK解説主幹) パネリスト 海堀 正博 (広島大学大学院総合科学研究科 教授) 佐藤 誠七 (山形県白鷹町長) 安部 博之 (山形県砂防・災害対策課長) 安久津 俊幸 (気象庁 山形地方気象台長) コメンテーター 大野 宏之 (国土交通省砂防部長)
15:00	(休 憩) (20分)
15:20	■特別講演 (30分) 『防災に役立つ天気予報活用法』 講演者 三ヶ尻 知子 (気象予報士)
15:50	■事例報告 (70分) 『活かしてほしい私たちの土砂災害体験・取り組み』 司 会 阿子島 功 (山形大学名誉教授) 報 告 者 山形県大蔵村 肘折地区自治会 代表者 山形県南陽市 小滝地区自主防災会 代表者 しらか木 の 駅実行委員会 代表者 コメンテーター 高橋 重美 (山形県砂防協会会長・最上町長) 三ヶ尻 知子 (気象予報士)
17:00	■閉 会 挨拶: 山形県県土整備部長

18:00~19:30 **意見交換会** **メトロポリタン山形**

■開催趣旨
平成26年の8月豪雨は、全国で多くの土砂災害を引き起こし、中でも8月20日に広島市で発生した災害は、死者74名と平成に入ってから最も甚大といえる被害をもたらしました。
開催県 山形県においては、人的被害は発生しませんでしたでしたが、平成25年は56件、平成26年は29件の土砂災害が発生しており、人家や生活を支える農園等が大きな被害を受けたほか、一部地域では避難を強いられるなど、県民生活・経済に大きな影響を与えました。
日本全土において土砂災害の多発化、激甚化が指摘されるなか、平成26年11月土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(以下、土砂災害防止法)の改正が成立し、土砂災害防止に向けた国・都道府県・市町村の役割と義務がこれまで以上に明確化されました。いま、全国の砂防部局には、この改正を受け、砂防えん堤の整備などのハード対策及び土砂災害警戒区域等の指定などソフト対策を両面から、スピード感をもって取り組むことが求められています。
本年の「全国の集い」は、土砂災害防止法の改正を踏まえ、今後の砂防事業の推進の方向性や具体的な方策に関する知見の共有、意見交換を行なうとともに、山形県を含む東北地方でも増加の傾向を示す土砂災害の減災に向けた地域主導の取り組みについて紹介し、広く山形県民をはじめとする国民全般の土砂災害に対する警戒意識の向上に資することを目的として、6月1日から30日まで実施される土砂災害防止月間(運動テーマ: みんなで防ごう土砂災害)の主要行事の一つとして開催します。

6月5日(金) 現地研修会 CPD・CPDS認定講習対象

※行程は変更になる場合があります。

- A 肘折方面コース**
08:30 JR山形駅出発→10:40 希望大橋→11:00 肘折砂防えん堤～肘折温泉街散策→11:50 肘折地すべり災害箇所→(昼食・休憩)→14:30 おいしい山形空港→15:30 JR山形駅
- B 蔵王方面コース**
08:30 JR山形駅出発→09:15 鴨の谷地 地すべり対策事業→10:15 蔵王川 火山砂防事業→(昼食・休憩)→13:00 蔵王御釜→15:30 JR山形駅→16:30 おいしい山形空港



希望大橋と肘折温泉街 A



肘折砂防えん堤(登録有形文化財) A



鴨の谷地 地すべり対策事業 B



蔵王川 火山砂防事業 B

◎参加申込み要領

ご聴講をご希望の方は、山形県砂防・災害対策課ホームページより申込書をダウンロードいただき、必要事項を記入の上、FAX、e-mail又は郵送にてお申し込みください。

山形県砂防・災害対策課ホームページ
<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kendoseibi/180010/tsudoi.html>

4日のプログラム(ポスターセッション、式典、パネルディスカッション、特別講演、事例報告)は無料ですが、現地研修会、意見交換会には下記の費用が必要となります。

○6月4日 意見交換会 ¥6,000(消費税込)
○6月5日 現地研修会(A・Bコース共通) ¥5,500(昼食、保険料、消費税込)

※申込書による宿泊の手配も可能です。

参加登録締め切り 平成27年5月11日(月)

4日のプログラム(ポスターセッション、式典、パネルディスカッション、特別講演、事例報告)については当日受付も可能ですが、収容員数に限りがあり、聴講できない可能性があるため、事前申し込みをおすすめします。

《お問い合わせ先》 山形県砂防・災害対策課 電話023-630-2225
担当: 嶋田、五十嵐、加藤